

対象国の条件:

研修コース番号 :J1804333

案件番号 :1884522

主分野課題 :ガバナンス/公共安全

副分野課題:

使用言語 :英語

案件概要

国際捜査又は国際捜査共助に従事する中堅職員を対象とする。日本の捜査活動について理解することにより、当該分野において参加各国の共通認識及び直面する課題を分析し、その対策について検討する機会を提供する。

目標/成果

対象組織/人材

【案件目標】

日本の警察制度・組織、国際捜査等の理解を通じて、自国の国際捜査、各種犯罪対策に関する業務改善の基本的な方向性を整理する。

【対象組織】

各国の中央警察機関

【成果】

- (1) 日本の国際犯罪捜査に関し、有効に機能していると認められる制度について理解する。
- (2) 参加各国の警察組織が直面している国際犯罪捜査上の課題・問題点を具体的に説明する。
- (3) 犯罪捜査において、参加各国の組織が直面しているの課題・問題点の解決に対するアクションプランを作成する。

【対象人材】

- ・警部以上の階級にある者
- ・国際捜査又は国際捜査共助に従事する警察職員

内 容

- (1) ・講義：日本警察の概要
 ・講義、事例紹介、質疑：日本の刑事手続、国際捜査共助、ICPO、国際犯罪捜査事例、地域警察等
- (2) ・参加者のカントリーレポートの発表：国境を越えた犯罪捜査の分野における、参加各国の警察組織が直面している犯罪捜査上の課題・問題点の発表
 ・討論：上記発表と各講義における討論
- (3) ・アクションプランの作成・発表：アクションプランの発表

本邦研修期間

2019/1～2019/2

担当課題部

産業開発・公共政策部

所管国内機関

JICA東京（産業公共）

関係省庁

警察庁

実施年度

2016～2018

主要協力機関

警察大学校国際警察センター

**特記事項
及び
ホームページ**